

編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成瀬, 博規 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00028137

編集後記

本報告書は、令和2年12月23日（水）にオンラインにより開催された第26回技術報告会の内容をまとめたものとなります。今年度は、コロナの影響により勤務の上でも生活の上でも非常に不安なスタートとなりました。そういった中どうすれば中止を回避し、また安心・安全に本年度の技術報告会を開催できるだろうかと、企画委員会一丸となり検討を重ねました。そして、たくさんの皆さまのご意見・ご助言もいただき、ご理解・ご協力をいただきながら無事オンラインによる報告会を開催することが出来ました。コロナ禍という困難に立ち向かい報告会を開催したことは、技術部全体へのウェブ会議やオンデマンド資料の作成などオンラインに関する技術普及の機会となり、また、会って話が出来ることの尊さを再確認する機会ともなりました。

本書巻頭言には本学の学長及び理事（技術部長）より賜った挨拶を掲載いたしました。その他本書には、今年度本学技術部職員が開催した研修報告、日本学術振興会科学研究費助成事業（奨励研究）に採択された研究内容を併載しました。以上の原稿を作成して頂いた方々に心よりお礼申し上げます。

今回の報告会は、学内から53名、学外からは金沢大学、国立遺伝学研究所、三重大学、浜松医科大学の4機関から19名の参加があり、合計72名の参加となりました。発表は10件あり、いずれも現状に即した最先端のものであり、時代の変化に即対応していく活性の高さに感心させられる内容でした。進行のほうも大変スムーズに進み、他機関の方からも喜んでいただくことが出来ました。残念ながら情報交換会は行うことが出来ませんでした。一日も早く皆で集まり密な情報交換ができる日が来ることを願っています。

最後になりますが、報告会にご協力いただきました企画委員をはじめ広報委員、発表者、そして聴講者の皆さまなど多くの方のご支援により、大きなトラブルもなくスムーズに会を終えることが出来ました。誠にありがとうございました。

令和3年3月 吉日

第26回 静岡大学技術報告会 実行委員長 成瀬博規